

10月22日14:00解禁

平成25年10月22日

八幡市

関西大学

独立行政法人都市再生機構西日本支社

報道提供資料

八幡市・関西大学・UR都市機構による

男山地域まちづくり連携協定書の締結について

八幡市・関西大学・UR都市機構の三者は、「住みたい、住みつけたい、男山」を目指して、相互に連携・協力するために、京都府を立会人とし「男山地域まちづくり連携協定書」を締結します。

また、協定締結を機に、UR都市機構男山団地の空店舗を関西大学がコミュニティ活動拠点として運営する取り組みや、地域の子育てサークル等と連携した子育て支援の取り組みなどを進めていきます。

お問い合わせは下記へお願いします。

八幡市

まちづくり推進部 都市計画課

(電話) 075-983-1111

関西大学

広報室広報課

(電話) 06-6368-1131

UR都市機構西日本支社

ストック事業推進部団地再生計画第2チーム

(電話) 06-6969-9385

総務部総務チーム

(電話) 06-6969-9008

1. 趣旨

男山地域は、日本住宅公団（現：UR都市機構）施行の土地区画整理事業により整備され、昭和47年の第1期入居以来40年以上が経過し、緑豊かな住宅地として成熟するとともに、世帯の高齢化も進んでいる状況にあります。

八幡市及び男山団地の所有・管理者であるUR都市機構は、関西大学による「集合住宅“団地”の再編（再生・更新）手法に関する技術開発研究」における男山地域・男山団地の再生に関する提案を踏まえて、関西大学とともに、男山地域のまちづくりに取り組んでいきます。

また、今回の協定書の締結については、京都府「まちの課題・チーム型解決事業（まちの仕事人）」の支援を受けて実現したものであるため、京都府の立会いのもと、三者が「住みたい、住みつづけたい、男山」を目指して、相互に連携・協力するために「男山地域まちづくり連携協定書」を締結します。

2. 協定書締結式について

(1) 日時

平成25年10月25日（金）14：40～

当日は取材可能です。受付を会場入口でお願いします。自社腕章等身分がわかるものを着用のうえ直接会場までお越しください。

(2) 会場

京都府庁：1号館3階秘書課会議室

(3) 出席者（敬称略）

京都府知事 山田啓二

八幡市長 堀口文昭

関西大学学長 楠見晴重

関西大学環境都市工学部建築学科教授

先端科学技術推進機構地域再生センター長 江川直樹

独立行政法人都市再生機構西日本支社 支社長 大西誠

3. 協定書等の概要

八幡市、関西大学、UR都市機構の三者は「住みたい、住みつづけたい、男山」を目指して、次に掲げる事項について連携・協力する。

- (1) 次世代を育むまちづくりとして、子どもが豊かに育つために、地域で子育てを支えあい、ともに育ちあう、分かちあう環境づくりの導入・確立
- (2) 多世代が根を張るまちづくりとして、高齢者が住み慣れた地域で住み続けられることを目指した「地域包括ケア」の確立
- (3) 地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立
- (4) 住民が主役となるまちづくりとして、地域の多様な活動主体の育成及び活動ステージの確保

4. 協定締結を機に進める具体的な取り組み

- (1) UR都市機構男山団地中央センターの空店舗を関西大学が賃借し、コミュニティ活動拠点「だんだんテラス」として運営していきます。
- (2) UR都市機構男山団地において、関西大学のデザインアドバイスによる子育て世帯向け賃貸住宅リフォームなど子育て支援の取り組みをスタートさせます。

以上